

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 19 年 1 月 30 日

会 社 名 アドアーズ株式会社 (JASDAQ・コード番号：4712)  
 (URL <http://www.adores.co.jp/>)  
 代 表 者 役 職 名 代表取締役社長  
 氏 名 鈴木 英一  
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長  
 氏 名 八多川 昭一 (Tel：(03) 5623-1100)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（一部簡便な方法を採用）  
 ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 12 月 31 日）

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	15,076	11.1	689	△16.1	671	△20.6	261	36.6
18 年 3 月期第 3 四半期	13,568	△7.9	821	38.7	845	45.1	191	366.1
(参考)18 年 3 月期	17,887		1,098		1,046		190	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	4	14		—
18 年 3 月期第 3 四半期	3	02		—
(参考)18 年 3 月期	3	01		—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期は主力であるアミューズメント施設運営事業への集中的な取り組みが、年次新店計画の達成および既存店の業績回復につながり、売上高は 15,076 百万円（前年同四半期比 11.1%増）となりました。また、パチスロ機・周辺機器レンタル事業および各種施設開発・設計・施工事業も受注・管理体制強化から大幅増収となり、売上高増加の下支えとなっております。

利益面ではアミューズメント施設運営事業の積極的なマシン投資や新店開設等により原価率が 0.4 ポイント増加（売上対比 82.0%）しましたが、全セグメントの売上達成が牽引する形で売上総利益は 2,718 百万円（前年同四半期比 225 百万円増）となりました。

営業利益では、上期からの体制強化・本社移転等により販売費および一般管理費が増加したことから 689 百万円（同 132 百万円減）となり、また経常利益は 671 百万円（同 173 百万円減）となりました。純利益に関しましては、既存店収益の回復効果により当初見込んでいた減損損失が減少したこと等により 261 百万円（同 70 百万円増）となりました。

セグメント別の業績の概要は以下のとおりとなります。

**【アミューズメント施設運営事業】**

	平成 18 年度第 3 四半期 (実績)	平成 19 年度第 3 四半期 (実績)	前第 3 四半期比
売上高	12,131 百万円	12,344 百万円	+1.8%

当社の主力事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、当第 3 四半期においてアドアーズ西船橋店、アドアーズ岩出店、アドアーズ青森中央店と計 3 店舗の新規出店を実施し、今期掲げておりました 5 ヶ店出店計画を達成致しました。また、アドアーズ錦糸町店の増床（増床後は 552 坪と当社最大の営業面積を更新しております）、さらに併設店としてキッズカフェを開設致しました。現時点まで各店共計画通りの堅調な推移を見せており、特に青森中央店およびキッズカフェにおきましては計画を大幅に上回る売上を達成しており、全社売上に大きな貢献をしております。

既存店舗におきましては、上期のポイント制度刷新が会員数の増加を促進していることに加え、積極的なマシン投資や徹底した社員教育によるサービス向上等から下期以降前年売上対比 100%超の推移を続けております。収益面におきましても、上期後半から実施している効率的な店舗運営の効果が寄与し、積極的投資による償却負担増の影響はあるものの、下期以降の営業利益は既存店ベースで前年を上回っております。

閉店に関しましては非効率店 1 店を実施し、引き続き運営の効率化を進めております。

以上の結果、売上高 12,344 百万円（前年同四半期比 1.8%増）となりました。

**【パチスロ機・周辺機器レンタル事業】**

	平成 18 年度第 3 四半期 (実績)	平成 19 年度第 3 四半期 (実績)	前第 3 四半期比
売上高	116 百万円	768 百万円	+558.3%

パチスロ機・周辺機器レンタル事業におきましては、パチスロ機レンタルが売上に寄与し、概ね計画通りに推移した結果、売上高は 768 百万円（前年同四半期比 558.3%増）となりました。

**【各種施設開発・設計・施工事業、不動産事業、その他事業】**

	平成 18 年度第 3 四半期 (実績)	平成 19 年度第 3 四半期 (実績)	前第 3 四半期比
売上高	1,320 百万円	1,962 百万円	+48.6%

各種施設開発・設計・施工事業におきましては、上期からの営業体制の見直しによる受注増に加え、下期より施工体制も強化したことにより、大幅な受注体制の強化につながった結果、売上高は 1,661 百万円（前年同四半期比 652.8%増）となりました。

不動産事業におきましては、概ね計画通りの入居率を確保した結果、売上高は 300 百万円（前年同四半期比 72.3%減）となりました。前年同四半期対比の減少要因としましては、前年同四半期において不動産売却が発生したためであります。

## (2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	29,905	13,866	46.4	219	47
18年3月期第3四半期	27,711	13,767	49.7	217	74
(参考)18年3月期	30,589	13,768	45.0	217	87

## [財政状態の変動状況に関する定性的な情報]

当第3四半期における総資産は、前会計年度末と比較して684百万円減少致しました。増減の主なものは、積極投資・新店開設によるアミューズメント施設機器資産が増加しましたが、パチスロ機・周辺機器レンタル事業での預かり金返還や貸与資産の償却等で減少したことによるものです。

## [業績予想及び配当予想に関する定性的情報等]

## 【第40期事業年度・四半期毎推移（ラップ）】

	第1四半期(業績予想対比)	中間期(業績予想対比)	第3四半期(業績予想対比)
売上高	20.8%	47.2%	73.9%
経常利益	2.3%	28.6%	61.0%
純利益	4.8%	50.8%	104.4%

第3四半期につきましては前記記載の通り、前倒投資・新店開設等による原価増、体制強化等の販管費増加等により経常利益が業績予想に対して下回っておりますが、第4四半期においては、積極的な前倒投資効果・社員教育の徹底による既存店の回復は引き続き勢いを維持する上、新店の売上も大きく寄与する見込みであります。収益面に関しましても、効率的な店舗運営を更に進め、第3四半期単体（10月～12月）以上の売上・利益を達成する所存です。

更にレンタル関連事業におきましては与信体制を徹底し安定的な収益確保を基本に、施設関連事業におきましても第4四半期にかかる受注を的確に施工した上で更なる受注獲得と高収益体制を目指し、売上・利益の下支えを実現してまいります。

現段階におきましては、上記の施策等により、平成18年5月24日付の平成18年3月期決算短信（非連結）で発表いたしました平成19年3月期通期の業績予想に変更はありません。

## 平成19年3月期の業績及び配当予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金			
				中間	期末		
通期	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
	20,400	1,100	250	—	250	2	50

なお、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料

要約四半期貸借対照表、要約四半期損益計算書

[添付資料]

1. 要約四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
<b>(資産の部)</b>								
<b>I 流動資産</b>								
1. 現金及び預金	5,313		4,805		507	110.6	6,114	
2. 受取手形	2,092		444		1,647	471.2	1,921	
3. 売掛金	108		118		△9	91.5	141	
4. 完成工事未収入金	160		5		155	3200.0	58	
5. たな卸資産	1,015		827		188	122.7	807	
6. 短期貸付金	4		2,074		△2,070	0.2	—	
7. 繰延税金資産	97		294		△196	33.0	234	
8. その他	734		897		△162	81.8	775	
9. 貸倒引当金	△54		△53		—	101.9	△55	
流動資産合計	9,473	31.7	9,414	34.0	59	100.6	9,998	32.7
<b>II 固定資産</b>								
有形固定資産								
1. アミューズメント施設機器	4,001		2,946		1,055	135.8	2,617	
2. レンタル資産	—		409		△409	0.0	—	
3. 貸与資産	1,619		—		1,619	0.0	2,160	
4. 建物	3,162		2,628		534	120.3	2,422	
5. 土地	2,655		2,658		△2	99.9	2,658	
6. その他	212		494		△280	42.9	722	
有形固定資産合計	11,652	39.0	9,135	33.0	2,516	127.6	10,581	34.6
無形固定資産	348	1.1	361	1.3	△13	96.4	355	1.2
投資その他の資産								
1. 長期受取手形	753		810		△57	93.0	1,534	
2. 敷金保証金	7,118		7,445		△327	95.6	7,409	
3. 繰延税金資産	222		66		155	336.4	107	
4. その他	513		961		△446	53.4	898	
5. 貸倒引当金	△176		△484		307	36.4	△296	
投資その他の資産合計	8,431	28.2	8,799	31.7	△368	95.8	9,653	31.5
固定資産合計	20,431	68.3	18,297	66.0	2,134	111.7	20,590	67.3
資産合計	29,905	100.0	27,711	100.0	2,194	107.9	30,589	100.0

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
<b>(負債の部)</b>								
<b>I 流動負債</b>								
1. 支払手形	1,676		495		1,181	338.6	563	
2. 買掛金	781		447		334	174.7	423	
3. 工事未払金	476		93		382	511.8	19	
4. 一年内返済予定の社債	900		350		550	257.1	900	
5. 短期借入金	200		3,900		△3,700	5.1	2,500	
6. 一年内返済予定の長期 借入金	1,412		926		486	152.5	1,205	
7. 未払法人税等	131		38		92	344.7	136	
8. 前受リース・レンタル料	591		63		528	938.1	597	
9. 賞与引当金	74		72		2	102.8	115	
10. その他	1,770		1,098		674	161.2	3,539	
流動負債合計	8,013	26.8	7,482	27.0	531	107.1	10,001	32.7
<b>II 固定負債</b>								
1. 社債	3,390		4,840		△1,450	70.0	4,190	
2. 長期借入金	4,093		1,208		2,885	338.8	1,108	
3. 預り保証金	304		205		99	148.3	275	
4. レンタル預り保証金	9		10		△1	90.0	103	
5. 長期前受リース・レンタル料	1		59		△57	1.7	518	
6. その他	225		139		87	161.9	624	
固定負債合計	8,025	26.8	6,461	23.3	1,563	124.2	6,819	22.3
負債合計	16,038	53.6	13,944	50.3	2,094	115.0	16,820	55.0

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
<b>(資本の部)</b>								
I 資本金	—		4,000	14.4	△4,000	—	4,000	13.1
II 資本剰余金								
1. 資本準備金	—		5,855		△5,855	—	5,855	
資本剰余金合計	—		5,855	21.1	△5,855	—	5,855	19.2
III 利益剰余金								
1. 利益準備金	—		85		△85	—	85	
2. 任意積立金	—		1,186		△1,186	—	1,186	
3. 四半期(当期)未処分利益	—		2,774		△2,774	—	2,773	
利益剰余金合計	—		4,046	14.6	△4,046	—	4,045	13.2
IV その他有価証券評価差額金	—		9	0.0	△9	—	12	0.0
V 自己株式	—		△144	△0.5	144	—	△145	△0.5
資本合計	—		13,767	49.7	△13,767	—	13,768	45.0
負債、資本合計	—	—	27,711	100.0	△27,711	—	30,589	100.0
<b>(純資産の部)</b>								
I 株主資本								
1. 資本金	4,000	13.4	—		4,000	—	—	
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金	5,855		—		5,855	—	—	
資本剰余金合計	5,855	19.6	—		5,855	—	—	
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金	85		—		85	—	—	
(2) その他利益剰余金	4,063		—		4,063	—	—	
利益剰余金合計	4,148	13.9	—		4,148	—	—	
4. 自己株式	△149	△0.5	—		△149	—	—	
株主資本合計	13,855	46.4	—		13,855	—	—	
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	11		—		11	—	—	
評価・換算差額等合計	11	0.0	—		11	—	—	
純資産合計	13,866	46.4	—		13,866	—	—	
負債、純資産合計	29,905	100.0	—	—	29,905	—	—	—

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成18年3月期よりリース事業を開始したことにより、そのリース事業に係る資産と「レンタル資産」をあわせて「貸与資産」として資産の部に表示しております。

2. 要約四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)		前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)		増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
I 売上高	15,076	100.0	13,568	100.0	1,507	111.1	17,887	100.0
II 売上原価	12,357	82.0	11,075	81.6	1,282	111.6	14,556	81.4
売上総利益	2,718	18.0	2,493	18.4	225	109.0	3,331	18.6
III 販売費及び 一般管理費	2,029	13.5	1,671	12.3	357	121.4	2,233	12.5
営業利益	689	4.6	821	6.1	△132	83.9	1,098	6.1
IV 営業外収益	120	0.8	306	2.3	△185	39.2	346	2.0
V 営業外費用	138	0.9	283	2.1	△144	48.8	398	2.2
経常利益	671	4.5	845	6.2	△173	79.4	1,046	5.9
VI 特別利益	18	0.1	80	0.6	△61	22.5	264	1.4
VII 特別損失	234	1.6	456	3.4	△221	51.3	749	4.2
税引等調整前四半期 (当期)純利益	455	3.0	468	3.5	△13	97.2	562	3.1
税金費用	193	1.3	277	2.0	△83	69.7	372	2.0
四半期(当期)純利益	261	1.7	191	1.4	70	136.6	190	1.1

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。